

## 第11回奈良県節電協議会 議事録

日時：平成25年4月9日

14時45分～16時00分

場所：奈良県中小企業会館4階 大会議室

### 【荒井知事挨拶】

皆様、ご多忙中のところ、第11回節電協議会にお集まりいただきありがとうございます。県庁は4月に組織改編・人事異動がありまして、エネルギーの課を新たにつくりました。節電と省電力の供給体制を受け持つ課でございます。後ほど説明しますエネルギービジョンの担当課となります。エネルギーの需要と供給の計画を推進する課でございます。本日は、この冬、節電にご協力いただきました皆様方にその成果をご報告申し上げますとともに、奈良らしい節電スタイルを作るということで議論をしていただきました。その議論の成果をご紹介していただけるということでございます。拝見させていただきますと、大変おもしろい資料が出ておりますので、奈良のエコライフの実行に向けて、有力な資料になるものだと思っております。また、関西電力様からは、最近決まりました電力料金値上げについてのご報告をいただくことになっております。冬の節電が終わったらまた、夏がくると、大変めまぐるしい動きでございますが、皆様方には、奈良県のスタイルを、できるだけスムーズに省エネスタイルに変えていこうという運動に協力いただいて、心から感謝を申し上げる次第でございます。今後ともよろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げますとともに、本日、お集まりいただきましたことに感謝申し上げます、冒頭のご挨拶といたします。よろしくお願いたします。

### 【関西電力 迎常務挨拶】

関西電力の迎でございます。本日はこのような機会を賜り、大変ありがたく思っております。また、知事はじめ、節電協議会の皆様におかれては、ご多忙の折、お集まりいただき厚く御礼申し上げます。さて、この冬は、昨年12月5日から先月3月の29日の間、節電・省エネのご協力をお願いしてまいりました。後ほど詳しく需給状況につきましてはご報告させていただきますが、この冬は、全国的に気温が低く推移したにもかかわらず、安定した需給状況を保つことができました。これもひとえに、皆様方の節電のご協力への賜物であると考えております。心より厚く御礼申し上げます。4月以降につきましては、需要が減少する時期にあたることもあり、引き続き安定した需給状況を確保できると考えておりますけれども、皆様におかれましては、引き続き無理のない範囲で、節電・省エネ

にご協力を賜りますようお願いする次第でございます。また、先ほど、知事から言及がありましたように、当社の電気料金の値上げにつきましては、4月2日に経済産業省からお示しいただいた査定方針に基づく補正申請を提出して、同日、認可をいただいたところでございます。具体的内容につきましては、後ほど、少しお時間を頂戴し説明させていただきますが、景気に少し明るい兆しが見えるとはいえ、あいかわらず厳しい経済情勢の中、電気料金の値上げにより、皆様方の生活や産業活動に多大なるご負担をおかけすることとなり、誠に申し訳なく、この席を借りて深くお詫びを申し上げる次第でございます。当社といたしましては、更なる徹底した効率化に最大限の努力を積み重ねながら、電力の安定・安全供給、あるいは原子力の再稼動をはじめ、足元の課題に全力で取り組んでまいりたいと考えている次第でございます。また、奈良県さまにおかれましては、4月から新たにエネルギー政策課を設けられたということでございます。また、後ほど節電スタイルの推進および県のエネルギービジョンにつきまして、お話があると思っておりますけれども、私どもとしても、今後、県及び節電協議会の皆様と、一層、緊密に連携をいたしまして、また、省エネルギーの取組みについてのご提案、あるいはコンサルティングにも、一層、力をいれて取り組んでいく所存ですので、今後とも是非、よろしくお願ひしたいと思っております。私からは以上でございます。本日はよろしくお願ひいたします。

(資料の説明は省略)

## 【意見交換】

### 会長 荒井知事

ただいま、ご説明がございました各種報告につきまして、どれでも結構でございますが、ご質問・ご意見を賜りたいと思っております。本日のご説明以外でも、奈良県の節電・あるいはエネルギー問題についてのご所見などございましたら結構でございます。大国先生いかがでしょうか。

### 奈良県議会 大国副委員長

県議会総務警察委員会の副委員長をしております大国でございます。知事からご指名ですので申し上げさせていただきます。一点目は、大変、現状はよく承知しておりますけれども、値上げとなりますと、大変、市民生活に多大な影響が出られる方もいらっしゃるかと存じます。できる限り丁寧にご説明いただいて、そして、みんなで限らないエネルギーを使っていくんだという説明を心がけていただきたいと思います。それと、先ほどお話がありました「奈良の節電スタイル」行動企画案ですけれども、最後にスケジュール案をつけていただいておりますけれども、どういう状況だということは、目に見える形ですね、こういう進行をしているんだというのが、どこかでわかるような、また、それが皆さん

の励ましとなるような、見える化ということを是非ともお願いしたいと思いますが、その辺のお考えがありましたらお願いします。

#### **会長 荒井知事**

貴重なご意見ありがとうございました。節電スタイルの推進について、見える化の方向で進めたらどうかというご提案です。

#### **事務局**

節電協議会が、このような形で適宜、ございますので、その中で、普及に向けた啓発活動なり情報交換ができればと考えております。以上でございます。

#### **会長 荒井知事**

ありがとうございました。この節電についてのアイデア・情報について、この節電協議会がございますので、それが発表の場として、今、県の方からしますと唯一の発表の場ということでございますので、大変、貴重な情報提供の場と心得ております。県下のいろんな分野の方々が入っておられますので、意見を賜る貴重な場だと思っています。そのような場がございましたので、このような多少おもしろい、わかりやすい資料ができたのかなと思っています。また、さらに、わかりやすく進行状況を説明すべきとのご意見は大変重要だと思っていますので、こういう場を活用するということですが、いい資料ができますと、いろんなところで機会をみて資料をお運びして、よく見てもらえるようにするのがいいかと思っていますので、県としてはそのように心得ていきたいと思っています。

なお、この資料は節電についての資料でございますが、節電のほか節約ライフというのも、実はございまして、この節電の協議会のテーマではございませんが、よく拝見しますと、節約ライフも、そっくりこのメンバーで節約ライフを研究してもいいようなメンバーでございます。節約ライフというのは、廃棄物を少なくしようとか、自動車の走行とか、電気だけでなくエネルギーを余り使わないで、地球温暖化防止計画ということになります。その進め方についても、この節電協議会の進め方と資料は大いに役に立っていると感じております。奈良の石油・オイルなどの節約、又は廃棄物の省資源化・有効利用などについても、機会をえて、情報の提供をさせていただきたいと思っています。大国議員の意見のご趣旨を戴した情報展開・見える化の努力を続けたいと思っています。それでは、大きな努力をさせていただいているイオンリテール様、何かご所見・ご意見がありましたら、ご質問でも結構ですのでお願いします。

#### **イオンリテール総務部 藤田様**

イオンリテールの藤田でございます。奈良県には店が7店舗ございまして、現状、4店舗につきましては、店内照明のLED化を進めさせていただいております。4店舗は既に

完了しまして、本年度以降、残り3店舗のLED化を進めているところでございます。我々は小売業ですので、電気は冷蔵と照明に使います。照明のほうを削減できますと多少でもお役に立てると考えておりました、昨年度は大体、10%前後削減ができております。奈良県下のお店につきましては、少しLED化が遅れていますので、8%の削減が、今、照明だけでできております。LED化は残り3店舗、がんばってやっていきたいと考えております。

## 会長 荒井知事

ありがとうございました。特に夏になりますと、涼みにイオンなどにいかれる方が多いと思います。公共施設で、避暑に出かけましょうと節電ライフで書いておりますので、あまり暑くはできないと思いますが、ご協力いただきありがとうございます。

この節電協議会の中で、非常用電源について議論がございました。防災計画の中でも、非常用電源を確保する検討は、まだ進めておりますが、その観点からということもありますが、社会福祉法人の辻村様、ご意見もらえるでしょうか。

## 社会福祉法人経営者協議会 辻村様

辻村でございます。この社会福祉法人経営者協議会に属している団体は、老人ホームなど、あるいはその他子供の入所型の施設と、保育所やその他の通所型の施設がございますが、我々は、昨年は、節電協議会の啓発運動に対して、団体の各加盟施設にいろいろなお願いをさせていただきました。それぞれの施設でも取組みをいろいろやってくれたと思いますが、同時に、私たち施設というのは、そこに通うお子さんのご家庭であったり、利用者のご家庭であったり、施設だけでなく各ご家庭でも、節電を励もうとPRをさせていただきましたが、今、知事からお話がありました非常用電源、その他の独立電源と呼ばれているものでございますが、必ずしも、十分な対応はまだできておりませんが、ポータブルの小さな電源はある程度行事などでも活用できるということもございますので、各施設で少しずつでも備えていこうということでもいろいろと話し合いをしております。それから、施設全体をまかなうというのは、これは難しいですが、最低限必要な電源の確保のためには、少し規模の大きい非常用電源をどのような形で確保すべきかなど、費用のこともございますので、地元の行政当局も含めてご支援いただけないかと陳情させていただいておりますが、一方で前に国のほうでも、こんな話はお願ひしたら、消防用の非常用電源を汎用化できると緩和がされた通知をいただきました。もちろん、非常時には、消防の電力を完全に確保できるようにはしておかなくてはなりません、逆に火災ではない、自然災害時の電源確保のために、既に設置されている自家発電設備を汎用化させると。ただ、そのための回収の費用がかかりますので、こういうことも、もう少し積極的に取り組みたいなと施設間で話をしております。十分ではないですけれども、昨年来、視野が広がったなと感じているところでございます。

## 会長 荒井知事

ありがとうございます。非常用電源は防災計画をつくる過程で、24年度、25年度、市町村の防災計画と県の防災計画をつくる予定でございますが、その中で、非常用電源の確保は大きな課題でございます。緊急電源車を整備しようとか、場合によっては発電能力のある消防車のようなものも緊急配備するということも検討課題に入っております。それと、今、辻村さんがおっしゃった自己電源の開発というのも、節電の観点からも重要でございますが、家庭用ソーラーパネルの設置について、補助金の拡充を議会のほうで認めていただいております。わずかな量でございますが、小発電の能力を、それぞれの分野でもっていただくというのも、我々の節電と小供給力確保というのも、検討の対象に入っております。関係する分野の方も多いと思いますが、これからもよろしくお願ひします。そのほかの関係の方で、いかがでしょうか。シャープさんいかがですか。

## シャープ奈良事業所 黒田総務部長

シャープ奈良事業所の黒田と申します。当社独自の取組みでは、一部、非常用電源の追加の対策で増設したりしておりますが、それで全てがまかなえるかというところではありませんので、また順次強化をしていきたいと思っております。また、独自施策では、照明のLED化ということで、一万本程度切り替えをしているとか、あるいは老朽化したエアコンの入れ替えということで省エネ型に入れ替えるとかいった形で進めております。県にお伺ひしたいのですが、本日ご照会いただきました奈良の節電スタイルの家庭部門のパンフですが、非常に参考になる部分も結構載っているのですけれども、こういったものを県下の一般の方々にどういった形で啓発をするのか、参考までにお伺ひできたらと思っております。

## 会長 荒井知事

そうですね。奈良は電化製品がずいぶん普及率が高いということを、こんな資料で知りまして、びっくりしましたが、今のご質問は、このノウハウを結集されたパンフレットをどのように知っていただくかというご質問でございます。いかがでしょうか。

## 事務局

節電協議会を構成する関係団体とか、各市町村等にこのパンフを配布する予定でございます。あとNPO法人につきましても啓発イベントとか街頭啓発を実施する際にこのパンフレットを配布しようと考えております。以上でございます。

## 会長 荒井知事

パンフレットとして見ていただくのも、割とわかりやすく作っていると思っておりますので、いいかと思っておりますが、その中のノウハウの部分ですね、コンテンツを、季節が来て少し気になるような時になりましたら、常時広報することも大事ななと感じております。継続広報の

仕方については、またちょっと考えていきたいと思います。スタイルを見直してみませんがという呼びかけでございますので、一回パンフレットを見たらわかったという訳でもない内容ですので、折にふれて節電ライフ、省エネライフをご推奨するという、これは節電協議会の後ろ盾があって、胸を張ってできるという面もございますので、ちょっと広報の仕方を心がけて研究実行してみたいと思います。そのほかのご意見ございませんでしょうか。

### **市民生活協同組合ならコープ 中野**

ちょっと消費者として気になるので、お聞きしたいのですけれども、電気料金の値上げですけれども、一般家庭の値上げもありますし、産業のほうにも値上げもされますので、単純に家庭の直接的な値上げの影響というだけでなく、これからいろんな面で値上げが電気に限らずされてくるのだらうなど、非常に暮らし向きというのも大変になるなとも思っています。この電気料金の値上げの見通しというか、今値上げということできれるは、消費者にしてみれば、通ってしまったということになるのですけれども、それで、その後、まだまだこういったことが進んでいくのかな、どうなるのかなというのが気になるのと、あとこれは奈良県エネルギービジョンの概要に出されているのですけれども、奈良県だけでなく、エネルギーの使い方というのは効率をもっと上げていって、エネルギーの使用量・消費量を少なくできるようなことを前に新聞でも見ましたし、もっとエネルギー効率をよくすることってないのかなと私などは思うのですけれども、そのあたり、今後の可能性みたいなものを教えていただけたらと思います。日本の科学技術なら何とかならないのかなと思うのですがどうでしょうか。奈良県のエネルギービジョンにつきましては、平成25年から27年の計画期間中ということではいろいろ書かれていますけれども、そのあとの予算のページには平成25年度の関連予算がのっていますが、26年度、27年度とその後どこまで目指していけるのかなということが気になるので教えていただけたらなと思います。

### **関西電力**

一点目のご質問の件でございますが、電気料金その後どうなるのかという点ですけれども、今回の値上げの申請内容には、私ども、7月からあくまで算定上の話しですけれども高浜3、4号が稼働する前提で原価を計算しております。高浜3、4号が稼働しない場合は、火力燃料費が増加することが予想されるのですけれども、私どもは一日でも早い段階でも高浜3、4号の稼働を目指しておりますので、仮に高浜3、4号の稼働の時期が遅れましても可能な限り現在の料金で維持できるようがんばって行きたいと思っております。ただ、高浜3・4号がどの段階どう帰ってくるのか懸かってくると思います。

### **会長 荒井知事**

はい。県の方の回答はどうでしょうか。

## 事務局

エネルギービジョンの計画期間が3年間ですが、その後はどうなるのかということですが、まずこのエネルギービジョンの基本方針のところに書いております1～4番、特に1～3番を3本柱として積極的に推進していこうということですが、とりあえず平成25年度から27年度の3年間に集中的に省エネ節電スタイルの推進をして確立していこうと、あるいは緊急時のエネルギー対策を推進しようと、また再生可能エネルギーの普及拡大を図っていこうというのがこの3年間でございます。計画期間のところに書いておりますけれども、今後につきましては、中長期的な課題にも対応する必要がでてくるということで、国のエネルギー政策の動向を見ながら、引き続きエネルギービジョンの見直しに適宜反映していこうということでございます。

## 会長 荒井知事

電気料金につきましては、原子力の電力は安い電力ですが、やはり怖い発電スタイルだということで、いざ事故が起こったら大変怖い、しかし安い。さて、今、原発が止まってくるとオイルで火力発電して円安で燃料が高騰してくると値上がり傾向となるということでございます。これはどちらを選ぶのかというのは難しいですが、その間、効率的に使う、節電して使おうというのが、せめて我々が身の回りでできることをしようではないかという我々のフィールドの努力でございます。それと県のエネルギービジョンは節電だけでなく、県には原子力発電も火力発電も大規模発電はございませんので、需要も関西電力の中でも5%のシェアでございますが、できるだけ地元で少しでも供給力を増やせるようにしようではないか、小電力供給もしようかというのが、今日は節電協議会ですけれども、発電とのバランスを少しでも回復しようかというのが、県のエネルギービジョンの内容でございます。送電線がなくてもまかなえるほど、地場供給はなかなかでないですけれども、風力は少し難しいので、地熱も難しいので、小水力と太陽光と木質バイオの3つを念頭において小供給をしようかというのがエネルギービジョンの柱となっております。供給と需要ということで、両方を入れてエネルギービジョンをつくったのは奈良県としては初めてでございます。引き続きこのビジョンに基づいて、需給を見ていくということをしていきたいと思っております。ちょっと時間を過ぎたかもしれませんが、意見交換の時間のセッションは以上で終了させていただきます。

## 会長 荒井知事

資料については、これはおかしいというご意見はございませんでしたので、資料2の奈良の節電スタイルについては、このような行動計画案により基づいて進めさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。もし、ご異論なければこの案により、節電スタイルを進めさせていただきます。ありがとうございました。